

## 第2回第七採択地区教科用図書採択協議会

### 議事録

期 日 令和5年7月24日（月）

場 所 北本市役所 会議室3-E・F

開 会 9時00分

閉 会 16時15分

令和5年度 第七採択地区教科用図書採択協議会長	神子 修一
委 員 鴻巣市教育委員会 望月 栄 教育長	加藤 幸弘 委員
桶川市教育委員会 岩田 泉 教育長	水村 実男 委員
伊奈町教育委員会 高瀬 浩 教育長	三國 隆夫 委員
北本市教育委員会 神子 修一 教育長	黒川 範子 委員
事務局 北本市教育委員会学校教育課長	木暮 克敏
北本市教育委員会学校課主幹兼指導主事	前島 利彦

## 1 開 会

## 2 あいさつ 第七採択地区教科用図書協議会長（北本市教育委員会教育長）

## 3 日程等の確認及び説明

（事 務 局） 3親等以内の親族に教科書発行者の方がいないか。

（全 員） いない。

（事 務 局） 本日、1日目は7教科9種目。はじめに、保護者代表に全種目の研究結果報告をしてもらう。その後、調査代表報告、委員による協議、傍聴人退出後に委員による選定を行う。本協議会は規約第11条のとおり、原則公開である。ただし、第1回協議会で会長に諮り、選定のみ非公開とすることが決定している。

## 4 調査報告・質疑

（事 務 局） 協議に入る。ここからは神子会長に議長をお願いする。

（議 長） それでは、協議に入る。

記録について、要点のみとすることによろしいか。

（全 員） 異議なし。

（議 長） 発言者については、議長とか委員Aという形によろしいか。なお、記録作成のため、録音させていただく。記録が済み次第消去するということがいなか。

（全 員） 異議なし。

（議 長） 傍聴人は第七採択地区教科用図書採択協議会規約に基づき、傍聴願う。

（議 長） それでは、協議に入る前に選定の流れについて事務局の説明を願う。

(事務局) 選定の流れについて確認する。協議終了後、教科用図書選定の時間において委員の皆様のご意見により決定していく。委員全員の意見が一致したときには、その図書を第七採択地区の案として選定する。一致しなかった場合、規約第13条により、投票となる。投票の場合は規約第13条2項により、委員の過半数を得た教科用図書を採択案として選定する。また、規約第13条の3項により、過半数を得ない場合は、得票の多順から2種類教科用図書について投票を行い、多数を得たものを選定とする。規約第13条4項において、得票数が同じ場合は、選定前の協議経過を勘案し会長が決するとなっている。

(事務局) 今年度の採択に係る採択基準は、資料の13ページを確認願う。この採択基準は、市町村教育委員会が教科用図書を採択するときの一般的な指針となるもので、県で作成され周知が図られているものである。本協議会においても、採択の基準となる基本的な考え方とし、協議を進めるよう願う。資料15ページについては「教科書発行者による不適切な行為について」である。本採択地区としても、この内容について勘案したうえで、適切に調査研究を進めてきた。本協議会においても、適切かつ公正に進めるよう願う。

(1) 保護者の代表による研究結果の報告

(議長) それでは、研究結果の聴取に入る。はじめに、保護者代表より研究結果の報告である。事務局から保護者代表を紹介する。

(事務局) 保護者の代表として、2名の方に依頼し、小学校の教科用図書全般にわたって研究していただいた。その結果を聞き取り願いたい。

(議長) それでは、よろしく願います。

(保護者代表A) 保護者の立場から、まず、国語、書写、算数、音楽、図画工作、外国語の教

科用図書を調査した結果を報告させていただく。

### 【国語】

- 東京書籍は、単元ごとに「見通す」「取り組む」「振り返る」と構成されていて、流れやまとめがわかりやすかった。巻末の漢字一覧も見やすかった。
- 教育出版は、内容ごとに「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と目的がわかりやすく表示されていた。資料写真やイラストが豊富で、内容に興味をもちやすくてきている。
- 光村図書は、「問いをもとめ」「いかそう」「ふり返ろう」など、ポイントがこまめに表示されているので、自分で考えながら読めるようにできていた。目標などを書き込めるスペースがあった。

### 【書写】

- 東京書籍は、「とん」「すう」「びたっ」など、感覚を使って文字を楽しく書ける工夫がされていた。読みやすい字が書けるよう、運筆を意識するコツがわかりやすかった。
- 教育出版は、文字を丁寧に書くためのポイントの解説が色分けなどで工夫されていてわかりやすかった。巻末の漢字表に書き順が細かく書いてあるが、読みやすくてできていた。
- 光村図書は、表紙・内容の猫のキャラクターがかわいくて児童が親しみやすい。きれいな文字を書くだけでなく、手書きの良さを伝える内容が面白かった。

### 【算数】

- 東京書籍は、色使いが強すぎず、読みやすかった。イラストなども大きさが控えめで全体的に読みやすいデザインだった。
- 大日本図書は、上下巻に分かれていないので、一年を通して使いやすと思うが、子どもには重さがあると感じた。ふくろう先生の「なるほど算数教室」が算数にとどまらない内容で面白かった。
- 学校図書は、A B判で大きくできていて、開きやすく、書き込みやすい。考え方モンスタ

一のキャラクターがかわいく、親しみやすい。

○教育出版は、国内のランドマークの写真が多く使われていて良い。写真資料が多めだった。

巻末の「学びのマップ」が過去の学年を振り返りやすい。「広がる算数」が実生活への応用もできる内容だった。

○啓林館は、表紙、内容のデザインがシンプルで読みやすかった。SDGsとの関連は、少し難しいのではないかと感じた。

○日本文教出版は、巻末の「学び方ガイド」がわかりやすく、保護者と一緒に読むのに良い内容だった。5、6年生の教科書にはしおりがついていて、使いやすそうだ。

### 【音楽】

○教育芸術社は、各ページに学習のめあてが大きく表示されていて、学習目標を意識しながら取り組めるようになっていた。

○教育出版は、曲にあわせた挿し絵や写真が豊富で、感覚的にイメージしながら音楽を楽しめるようになっていた。書き込めるスペースもあった。

### 【図画工作】

○開隆堂は、製作している様子や、子どもの作品の写真が多く、読みながら楽しく製作に取り組めるようになっていた。

○日本教育出版（後に社名訂正の発言あり※正しくは日本文教出版）は、用具の使い方が丁寧に説明されてわかりやすかった。学習のめあてがしっかり明示されていて、明確な目標をもって取り組みやすくなっていた。

### 【外国語】

○東京書籍は、書き込みスペースが大きめにとってあり、書きなれない字でも書きやすくなっていた。

○開隆堂は、lessonごとにゴールが段階的に表示されているので、学習しながら目標が確認できるようになっていた。

- 三省堂は、別冊のMy Dictionaryが小さめのサイズにできているので、持ち運びや自主学習が手軽にできる。
- 教育出版は、折り込みページに日本と世界の名所、名物のマップがあり、児童が興味を持って読める工夫がしてあった。
- 光村図書は、巻頭に学習の到達目標のチェックシートがあり、学習の目安や自己評価が一目でわかりやすくチェックできるようになっていた。
- 啓林館は、「日本のみりよくをつたえよう」や日本の著名人、世界遺産や世界のスポーツなど児童が親しみやすい題材が多く扱われていた。

(保護者代表A) 私からの報告は以上である。

(保護者代表B) 次に、社会、地図、理科、生活、家庭、保健、道徳の教科用図書を調査した結果を報告する。

#### 【社会】

- 東京書籍は、キャラクターが興味を引き付ける工夫があった。複数冊に分かれていることで持ち運びの負担も少ない。
- 教育出版は、関係者の話などが色付けされた枠の中にあり、子どもにとって見やすくなっていた。
- 日本文教出版は、SDGSへの関心が強くなる取組として、全体を通して十分なページをとっていた。学習を進めながら常に考える機会をもたせていた。

#### 【地図】

- 東京書籍は、写真やイラストを多用し、わかりやすくまとめられていた。情報量の多い部分は2ページに分け、見やすいように工夫していた。
- 帝国書院は、世界地図の背景が宇宙になっていて、地図の広がりを感じさせる工夫があ

った。楽しいイラストでページをめくりたくなるような工夫がされていた。

### 【理科】

- 東京書籍は、ところどころに掲載されているコラムが理科に対する子どもの興味の幅を広げるものだった。
- 大日本図書は、問題から結論までの流れが分かりやすく書かれていた。実験のところは背景が塗りつぶされていて見やすい。
- 学校図書は、理科のキャラクターと学びを共に進めていく過程は意欲を向上させる。研究者からのコラムも充実している。
- 教育出版は、実験手順の説明とイラストで分かりやすく伝えようと工夫されている。
- 啓林館は、「はじめに考えよう」「もう一度考えよう」と同じ問いを繰り返すことで、学習の前と後ろで自分自身の学びに気づくことができるように工夫されていた。

### 【生活】

- 東京書籍は、子どもの想像力を掻き立てる工夫や、子どもに季節を感じさせる工夫があった。
- 大日本図書は、友達とゲームなどを通して仲良くなれるような内容が充実していた。
- 学校図書は、野菜の育て方やおもちゃの作り方などが、イラストでわかりやすくまとめられていた。
- 教育出版は、問いかけから内容が始まり、子どもに想像させる力を引き出す工夫がされていた。
- 光村図書は、絵本作家のイラストで子どもの心がわくわくするような工夫があった。付録も充実していた。
- 啓林館は、イラストと写真を使い、子どもに分かりやすいように工夫されていた。

### 【家庭】

- 東京書籍は、あたたかみのあるイラストや見やすい背景など工夫があった。包丁の使い

方など大きな写真で分かりやすく示していた。

- 開隆堂は、ページ上部の色分けやインデックスがあることで分かりやすい。裏表紙にも写真を掲載し、興味を持ちやすい内容となっていた。

### 【保健】

- 東京書籍は、章の始まりが子どもにも見やすい。学びの流れが示されていて分かりやすかった。
- 大日本図書は、情報が豊富で子どもが多く知識を獲得できるようになっていた。
- 大修館は、有名人の言葉や詩が掲載されていて子どもの心に届くように工夫がされていた。
- 文教社は、イラストや写真が多く、子どもにとって見やすい内容となっていた。
- 光文書院は、冒頭で有名人のメッセージが掲載されていて、子どもが学習に入りやすい工夫がされていた。
- Gakken は、学習をどのように進めていくのかが示されていて、わかりやすく学習が進められるようになっていた。

### 【道徳】

- 東京書籍は、表紙の絵や詩によって子どもたちに勇気と気づきを与える工夫があった。6年間を通して5つのユニットで重点的な学びができる。
- 教育出版は、アンガーマネジメントなど大切なことが資料として添付されていた。
- 光村図書は、学びの記録として低学年はシール、高学年は一言記入ができるように工夫されていた。
- 日本文教出版は、別冊で道徳ノートがあり、学習を進める上でガイドにもなっていた。
- Gakken は、6年間を通して自分に関することを書けるようになっていて、自分自身の成長に気づくことができるようになっていた。
- 光文書院は、低学年にはマンガ形式を多用し、わかりやすく伝える工夫をしていた。



(保護者代表B) 私からの報告は、以上となる。

これで保護者代表による調査結果報告を終わりにする。

(議長) ありがとうございました。

(2) 調査員による調査研究結果の報告・協議

(議長) 調査員による調査研究結果の報告に入る。

### ①国語

(議長) 国語の調査員代表、よろしく願います。

(調査員代表) 報告書に基づいて、国語3発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員E) 児童が受け身にならず、主体的にまた問題解決的な学習が進むよう、工夫されている点について教えてほしい。

(調査員代表) それぞれの教科書が、学習者自身が学習の見通しを立てて、意欲をもち、個別最適な学びが充実するような工夫がなされていた。

(議長) 他に質問はないか。

質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員H) 鉛筆の持ち方など、1年生の入門期の学びが大切であると思う。光村図書は、カンジー博士がなじみやすい。5年生の意見文の書き方は、中学校・高校につながる学習である。東京書籍は、ローマ字が3年生で丁寧に扱われている。教育出版は、点字や手話についてはしっかり扱われている。

- (委員 D) 光村図書は、資料が充実している。総合的に国語の力を育める構成になっており、児童が使いやすい。東京書籍は、見通しをもつためのページが用意されており、児童が意欲的に学ぶことができる。教育出版は、他社の教科書と差別化されている。
- (委員 A) 光村図書は、問いを立てて学習を進める流れになっていることから、主体的に学習に取り組む工夫がされている。また指導事項が発揮されるための言葉の手引きが位置付けられ、言葉による見方・考え方が自然と働くつくりになっている。東京書籍は、巻末付録にある「学習に使う言葉」や「言葉の広場」により、多くの語句が示され、語彙指導の充実に役立つつくりになっている。教育出版は、学習の手引きでは、目標が示された後に、上段には活動の流れが示され、下段には対話場面が示されることで、主体的に学習を進めやすい作りになっている。
- (委員 E) 光村図書は、「光村フォント」を採用し、文字が見やすい。低学年の教材が動作化しやすく、メルヘン的な挿絵も良い。図書館の利用や読書指導が充実している。鉛筆の持ち方、右利き、左利きに対応し、QRコードもよい。学び方や見通しがもちやすい。伝統的な言語文化（季節の言葉）を扱ってありよい。東京書籍は、QRコードが充実しており、学び方もしっかり示されている。導入で学習の流れがつかめるよう工夫されており、主体的な学びを促している。問題解決的な学習も促されている。資料が目にも優しく、わかりやすい。6年生、オンライン説明会の教材が現代を反映し、よい。教育出版は、多様な言語活動を取り入れ、言語能力が育つ。読書指導も充実している。2年上巻までが分ち書きである。なお、東京書籍は、2年生はすべて分ち書きである、光村図書は段階的に通常の文体になり、わかりやすい。よって、第1案が光村図書、第2案が東京書籍、第3案が教育出版の順である。

(委員 D) 各市町の順位を出してもよいのか。

(議長) 各教育委員会の考えを述べてもらってよい。

(委員 C) 第13条に則る形かと思う。

(委員 D) 第1案が光村図書、第2案が東京書籍、第3案が教育出版の順である。

(委員 H) 第1案が光村図書、第2案が東京書籍、第3案が教育出版の順である。

(委員 A) 第1案が光村図書、第2案が東京書籍、第3案が教育出版の順である。

(委員 E) 主体的な学び、問題解決的な学習、見通しが大切。その点もふまえ、光村図書がもっともよい。東京書籍もよいがやや劣るか。「大きなかぶ」の文章も光村図書がよい。

(委員 H) 光村図書、5年生でタイムリーな作品が掲載されておりよい。

(議長) 他の意見はないか。意見がないので、協議については終わりにする。

(議長) ここで、委員より発言がある。

(委員 C) 保護者代表については、図画工作「日本教育出版ではなく、日本文教出版」であると思う。

(議長) 訂正でよいか。

(全委員) 承知。

## ②書写

(議長) 書写の調査員代表、よろしく願います。

(調査員代表) 報告書に基づいて、書写3発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員 D) 水書の取扱いの始まり時期が、各社違うが、どのようにとらえているか。

(調査員代表) 発達段階に応じた教え方となる。知識・技能、基礎基本を身につけさせるように、指導することが大切であり、児童の実態に応じて指導を進めるので、一概には言い切れない。

(委員 A) 1人1台パソコンが入り、鉛筆を握る機会が減り、家庭での教育環境も変化しているがその点を踏まえて、各社とも、しっかりと書写の力が身に付くような内容になっているのか。

(調査員代表) 書写の力は、他の学力にも結び付く大切なものである。1人1台パソコンが入ったことで、QRコードを活用するなど、プラスの側面も多くある。しっかりと書く時間の確保が重要であると考えます。

(委員 A) QRコードが多数示されているが消化しきれぬのか。

(調査員代表) 目的ではなく、手段としてとらえている。知識・技能を身につけさせるため、効果的に活用すべきである。

(委員 C) 「教科書を教える」ではなく、「教科書で教える」という観点で、QRコードを必要に応じて活用したい。

(議長) 他の質問はないか。  
質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 A) 第1案は光村図書出版。2年生では「書しゃの学しゅうばめん」でイラストを交えて学習のポイントを示し、3年生では毛筆の「学習の進め方」で学習の流れを示すなど、発達段階に応じて学習が円滑に進められるようにしている。また、海外の子どもがモデルになっていたり、SDGsやユニバーサルデザインを取り上げていたりなど、書写を通して自然と社会生活に目を向けられる工夫がなされている。第2案は東京書籍。学習した書写の知識及び技能を

生活に広げるページがあり、学習を関連付けるための工夫がなされている。

第3案は教育出版。「ここが大切」で指導事項に関するポイントが示されている。

(委員 D) 第1案は光村図書出版。書写のやくそくや書き方の基本が明確。美しい文字を書く意識が高まり、日常生活にも結び付く。国語の教科書との関連性も大切である。第2案は、教育出版。資料が豊富であり、国際的な視点も示されている。第3案は、東京書籍。左利きの児童に対する記載が丁寧である。学習事項のポイントもわかりやすく、とらえやすい。

(委員 F) 第1案は光村図書出版。学習の進め方について、写真の掲載があり分かりやすい。小筆の取扱い時期など、教材の配列も丁寧である。1・3年生のスタートブックが充実している。キャラクターも親しみやすい。第2案は教育出版。説明が丁寧で分かりやすい。キャラクターも親しみやすい。試し書き、まとめ書きの欄が確保されている。第3案が東京書籍。3年生の書初めが「4文字」。求めるものがやや高いと感じる。筆の入り方の説明が丁寧さに欠けるか。毛筆の、「縦画」「横画」に加えて「点」も同時に学習が計画されており、やや難しいか。

(委員 H) 第1案は光村図書出版。筆の写真が多くあってよい。学習の進め方もわかりやすい。筆記具のもち方、姿勢などの説明がよい。児童の学習上、つまずきやすいところが丁寧に記されている。第2案は東京書籍。日常生活との結び付きがありよい。教科書の中に練習スペースがある。第3案は教育出版。似た文字の書き方の違いがわかりやすく、丁寧であった。

(議長) 他の意見はないか。

意見がないので、協議については終わりにする。

事務局より発言あり。

(事務局) 傍聴人規約について、誤ったものを配付していた。差替え願いたい。

### ③社会

(議長) 社会の調査員代表、よろしく願います。

(調査員代表) 報告書に基づいて、社会3発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員 C) デジタル技術の進歩により、カラー化された写真が掲載されているが、モノクロのままとの違いは、どんな意見があったか。

(調査員代表) あった。良し悪しであると感じる。カラーとモノクロでは、写真から受ける印象が全く違う。わかりやすくなる側面がある一方、違和感を感じるものもある。

(委員 D) 時代の流れが早い、タイムリーに内容が反映されているのか。

(調査員代表) 近年までの記載の対応は十分に見られる。統計資料も最新となっている。

(委員 E) 分冊の良し悪しについては、どうであったか。

(調査員代表) 重量を考えるとやはり分冊がよい。ただし、1年間を通した学び、例えば6年「歴史」と「政治経済」の関連性を見る際などは、1冊の方がよいこともある。どちらをとるかだが、重量の側面が重視されると考える。

(議長) 他の質問はないか。

質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 F) 第1案は東京書籍。学習の段階、流れがわかりやすい。3年生は生活科との

結びつきが大切にされている。用語の説明・解説も丁寧で分かりやすい。側注の学び方コーナーも適切である。分冊となっており、児童の持ち物の負担も少ない。第2案は教育出版。教科書左端に学習の流れの表示がある。学び方の記載も丁寧である。やや、印刷の色合いが暗く見える。分冊となっていない。第3案は日本文教出版。デジタルコンテンツが豊富でよい。「身につける力」の記載があるが、「教師側の視点」となっている。文字の書体が、やや読みにくい部分がある。分冊となっていない。

(委員 A) 第1案は東京書籍。「問題解決的な学習」をわかりやすく展開するため、「つかむ」「調べる」「まとめる」「生かす」の学習段階を明確に示してあり、構造的である。社会科における「見方・考え方」を生かした学習を展開するために、キャラクターが目印の囲み表示を記載し、「空間」「時間」「相互関係」の視点などがしっかりとおさえられている。第2案は教育出版。意欲や関心に応じて学びが進められる「もっと知りたい」のページを多様に配しており、さらに深く、広い学びを推進できるよう工夫されている。第3案は日本文教出版。登場キャラクターが「会話」をする形式で本文が記されているページが多く、児童にとってなじみやすい文章校正になっている。

(委員 C) 第1案は東京書籍。学習の流れが明確でわかりやすい。児童が、調べて、考えなくなる工夫がなされている。問題解決的な学習がすすめられる。第2案は、教育出版。見方・考え方を生かした学びが、意識化されるような工夫がなされている。第3案は、日本文教出版。本文の説明が明確である。主体的・対話的で深い学びの充実のため、各種問題の設定が工夫されている。また、各社の教科書の分量も選定のうえで、重要な要素である。

(委員 H) 第1案は東京書籍。児童の負担を考えると分冊でよい。学び方コーナーで様々な学び方が示されている。学習過程が明記されており、その時間に何を

学ぶかがわかりやすい。まとめ方の例が豊富に記されている。第2案は教育出版。社会科の見方・考え方の働かせ方、問題解決的な学びが促されるよう、工夫されている。疑問が次の学びにつながる。「子どもの立場からの『言葉』」が多いが、答えがすぐにわかってしまうような気がする。第3案は、日本文教出版。写真が鮮やかでよい。考えさせたいこと、気づかせたいことがすでに記されている点が気になる。問題解決的な学習の充実に資する内容になっている。

(委員 G) 「教科書の重さ」については、本市でも議論が多くなされた。QRコードは社会科の学習で大事な要素であり、しっかり確認をしたい。

(委員 E) 東京書籍は、学習の入り口として資料が魅力的に配されている。教育出版では4年生で「見沼」が大きく取り上げられた。多くの市町村で有効かとも思うが、地域の実情を考えると、決定打にはならない。

(議長) 他の意見はないか。

意見がないので、協議については終わりにする。

#### ④地図

(議長) 地図の調査員代表、よろしく願います。

(調査員代表) 報告書に基づいて、地図2発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 C) 第1案は帝国書院。ユニバーサルデザインの視点があり、見やすい。拡大地



図がありよい。児童がスモールステップで学べる工夫がある。第2案は東京書籍。問いと作業のコーナーが設けられ、児童が親しみながら学べる工夫がなされている。

(委員 A) 第1案は帝国書院。「地図のやくそく」や「地図帳の使い方」等に加え、アニメーション等も活用することで、導入期の児童への指導や発達段階に応じた指導の幅を広げている。「地図マスターへの道」として、色分けされた難易度等を参考に、児童が楽しみながら知識及び技能面だけでなく、思考力・判断力・表現力等も活用できるように工夫されている。第2案は東京書籍。児童が楽しみながら学習できるよう「ホップ ステップ マップでジャンプ」が全ての地図ページに設けられている。

(委員 H) 第1案は帝国書院。「地図のやくそく」や「地図帳の使い方」等、学習の入り口において、分かりやすく示されている。色合いがやさしく、地図内の表記がゆったりとしており、見やすい。「地図マスターへの道」が充実している。歴史とのつながりのある地図など、様々な学習との関連性がありよい。また、社会科と同じ教科書会社でない良さ（補完し合う）もあると考える。第2案は東京書籍。ドローンの動画、QRコードが充実している。「ホップ ステップ マップでジャンプ」もよい。

(委員 F) 第1案は帝国書院。「地図のやくそく」や「地図帳の使い方」等、地図の導入が丁寧に扱われている。色遣いがよく、山の表示も立体的。表紙が丈夫。地図の構成、広く見てから、詳細につながる構成である。歴史をテーマにしたページがよい。統計資料も充実している。第2案は東京書籍。QRコードが充実している。ページ数が少ないため、やや、情報を詰め込んでいる印象がある。地図マークが多く、やや見づらいか。統計資料は、充実している。

(委員 E) ページ総数の違いから、見やすさ、ゆったり感に違いがある。3年生から使

うため、発達段階に応じることが大切である。帝国書院はページ数の多さから、様々な種類の地図が配されている。

(議長) 他の意見はないか。

意見がないので、協議については終わりにする。

## ⑤算数

(議長) 地図の調査員代表、よろしく願います。

(調査員代表) 報告書に基づいて、算数6発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員 B) 学びの必要感をもたせるうえで、日常生活との関連が大切であると考えますが、状況はどうか。

(調査員代表) どの教科書も、導入場面では日常場面を多く取り上げている。とくに低学年はそのようになっている。また、日常的なサイクルだけでなく、数学的なサイクルも両立している。

(委員 D) ヒストグラムの取扱いは、どのようになっているか。

(調査員代表) 学習場面は新体力テストなど、具体的な事象とつなげている。中学校で扱ってきた内容なので、丁寧に扱いたい。

(委員 D) 本点について、どの教科書が優れているか。

(調査員代表) 体力テスト結果、読書量を数値として扱う等、各社様々である。

(委員 C) 学年が進むにつれて、できるできない、好き嫌いがはっきりしてくる教科であり、県としても課題のある教科であると捉えてあると感じる。この点について、どのような工夫がみられるか。

(調査員代表) どの教科書もQRコードが用意されている。ヒント的に、動的・視覚的にア

アプローチするように工夫されている。練習問題も、発展的な問題が用意されている。

(委員 C) この点について、優れている教科書はどれか。

(調査員代表) それぞれの良さがある。東京書籍は、子どもが算数の授業をつくっていけるよう、構成されている。

(委員 F) 「算数のノートの作り方」が出てくるタイミングが会社によって違うようだが、どう捉えているか。

(調査員代表) どこで取り上げるかは、クラスの実態や発達段階による。取扱いは、それぞれの実情による。教科書会社にとっても、それぞれ意図があるのだと推察する。

(議長) 他の質問はないか。

質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 H) 第1案は東京書籍。自力解決から練り上げの流れ、思考力が高まる。練り上げの際、吹き出しが、活動のヒントになっている。第2案は啓林館。数学的活動の過程で、数学的な見方・考え方が示されている。具体物、図、表などを使い、論理的に考えられるようになっている。QRコードもよい。内容がやや難しく感じる部分もある。第3案は教育出版。習熟度に合わせ、練習問題の量を調整できる。小単元のキャラクターの会話が、次につながる。

(委員 E) 授業はどうありたいか。そのための教科書はどうあってほしいかを、議論した。教科書としては、丁寧であったほうがいいであろうと考えた。第1案は東京書籍。割り算や円の学習を見ると、丁寧で見やすく、解決の途が丁寧に導かれている。既習を振り返るページがしっかりとある。QRコードが同じ

場所に記されており、使いやすい。目次から系統性がわかる。第2案は日本文教出版。学習段階を生かしながら学びを進められるようになっている。教科書の表紙がつながって一枚の絵になる。算数は系統性が大切なので、前の教科書を大事にすることにつながる。第3案は、教育出版。丁寧に展開が記載されてる。スタートブック、4コマ漫画なども有効である。

(委員 A) 第1案は東京書籍。数学的な見方・考え方を働かせながら、日常生活に関わる話題と既習をとらえるなどし、学習内容と結び付けたプロローグから導入することで、課題が見出しやすく、学ぶ意義を実感しやすいものになっている。また、学習のしあげの最後に「つないでいこう算数の目」を配置することで、学ぶ意義の実感を高めている。第2案は啓林館。これまでの学習のつながり等から問題をとらえ、めあてを創出する過程において、児童にめばえさせたい児童自身の問いや気づきを、「学びのめばえ」として例示しており、児童の主体的な学びへとつなげている。第3案は教育出版。「はてな」「なるほど」「だったら」「はてな」…というサイクルを示すことで、活用から、次時の「はてな」につなげる単元全体を通じた流れを構成し、自ら問いを生成する力を育成し、学びに向かう力、人間性等の涵養を図っている。

(委員 D) 第1案は東京書籍。1年生ブロックを使って「数」を学ばせることを大切にしている。ノートの升目を大切にしている。マイノートを作ろうがよい。1年生は大判(A4)で見やすい。イラストや写真が大きく見やすい。第2案は日本文教出版。1年生で楽しくスタートができるような工夫がなされている。2年生から6年生までは、深い学びが促されるような工夫がなされている。第3案は学校図書。学習の流れが明確にできている。振り返りのページが充実している。

(議長) 他の意見はないか。意見がないので、協議については終わりにする。

(議長) ここで、公開についても終了とさせていただきます。

傍聴人の皆様には、退席を願う。

### (3) 選定

(議長) それでは、選定を行う。事務局より説明をお願いします。

(事務局) 規約に基づいて種目ごとの選定方法を説明。

(議長) まず国語について選定を行う。協議の際、各市町、光村図書選出の記録がある。採択案として選定させていただきます。

(委員) 異議なし。

(議長) 続いて、書写について選定を行う。各市町、光村図書選出の記録がある。採択案として選定させていただきます。

(委員) 異議なし。

(議長) 続いて、社会について選定を行う。各市町、東京書籍選出の記録がある。採択案として選定させていただきます。

(委員) 異議なし。

(議長) 続いて、地図について、選定を行う。各市町、帝国書院選出の記録がある。採択案として選定させていただきます。

(委員) 異議なし。

(議長) 続いて、算数について、選定を行う。各市町、東京書籍選出の記録がある。採択案として選定させていただきます。

(委員) 異議なし。

(議長) 以上で選定を終了する。

(議長) 以上をもって、午前の部を終わる。事務局より連絡を願う。

(事務局) 午後の日程の説明。

(議長) 以上をもって午前の予定を終了する。

~~~~~昼食休憩~~~~~

(2) 調査員による調査研究結果の報告・協議

(議長) 午後の部を再開する。

#### ⑥理科

(議長) 理科の調査員代表、よろしく願います。

(調査員代表) 報告書に基づいて理科7発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員 B) 6社ともに観察・実験の工夫されている。安全面については啓林館1社のみについて発言があったが、残りの5社についてはどうであったか。

(調査員代表) 残りの5社についても同じように注意喚起等、きちんと安全面について説明されている。

(委員 C) 近年、生成AIの発展に伴い、現在様々な場面で対応が必要となっているが、想像される科学の未来について、各社違いはあったか。

(調査員代表) 現在、チャットGPT等の話題が多く出されているが、危険性をはらんでいるも

のなども含め、科学を安全に活用していこうという各教科書会社の意図が感じられた。

(委員 C) 6社の中で、より重点的、力が入っている項目があると感じた会社はあるか。

(調査員代表) 近年の災害について、どの会社も同じように取り上げている。

(委員 C) あえてあげるとしたらどこの教科書か。

(調査員) どの会社も写真やイラストで説明しており、分かりやすい。

(委員 D) QRコードが多く掲載されている。信州教育出版で説明があったが他社については。

(調査員代表) 他の5社についてもQRコードが充実している。同等程度である。

(議長) 他の質問はないか。

質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれの意見を伺う。

(委員 C) 第1案が教育出版である。実験など、安全に注意する事項が赤や黄など目立つ色にすることで、事故が起きないように工夫されている。生活科からの接続が詳しく書かれている。学習の見通しがもてるように問題解決の過程の記載等、考えを促す工夫がある。第2案が東京書籍である。問題解決の過程を学びのラインでつなぎ、思考・判断・表現力等について繰り返しを促すような記述があつて、よい。第3案が啓林館である。キャラクターの吹き出しに見方・考え方マーカーをつけ、思考力・判断力・表現力等を促すように工夫されていた。

(委員 H) 第1案は教育出版である。学習の進め方が分かりやすい。子供たちの見通しがもちやすい。大切な言葉にマーカーがある。生活科からの接続がスムーズである。第2案は啓林館である。QRコードの入れ方が効果的である。科学的な考え方、また理科的な考え方を深めることができる見方・考え方マーカーが見え

る化されており、深い学びにつながっている。第3案は大日本図書である。実験の手順の記載があり非常に分かりやすい。写真も大きく、キャラクター等の吹き出しもありよい。

(委員 E) 第1案が教育出版である。問題解決的な流れが明確になっている。単元に入る前、また各単元から巻末までを通して、科学的な学び方を高め、児童の見方・考え方を育てる工夫がある。終末の「たしかめよう」が使いやすい。人体の等身大があり、子供たちにとって使いやすい。第2案が東京書籍である。教育出版と構成が似ている。問題解決的な流れがよく示されてある。A4判で大きさを有効に使っている。子供たちの表情がいい。第3案は学校図書である。問題解決的な学習を大切にしている。紙面がすっきりして見やすい。振り子の単元、順番に一つの条件だけを変えて実験を行う方法をとっていてわかりやすい。

(委員 A) 第1案が教育出版である。学習の進め方、学習過程の流れや大切な観点が的確に解説されている。キャラクターの吹き出しに見方のカギ、考え方のカギなどのマーカーが引かれているため思考しやすい。第2案は啓林館である。児童の興味関心を高める、また、学習を深める工夫がある。第3案は学校図書である。吹き出しを有効につかっており、見やすい。

(議長) 他の意見はないか。

意見がないので、協議については終わりにする。

## ⑦生活

(議長) 生活の調査員代表よろしくお願ひする。

(調査員代表) 報告書に基づいて生活科6発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。



(委員 E) 単元の導入は子供たちと学習内容との出会いの場。主体的な学びにつながる導入についてはどのようなものが良いのか議論した。わくわくスイッチについては学習の流れの方向性を絞りすぎることはないか。研究の中で何か出たか。

(調査員代表) 各社、写真の導入など工夫がなされている。またフローチャートのような工夫がなされている教科書もある。

(委員 E) 主体的な学びという観点からは、どのような教科書が有効か。

(調査員代表) 一概には言えないが、子供たちが生活していくための教科書という観点からも、写真やイラストなどで、児童をひきつけていくことは導入にて必要ではないか。

(委員 C) 生活科では体験が重要である。7つ出版会社があるが、児童の実践的な活動に結び付きやすいと感じた出版社はあったか。

(調査員代表) 子供が自分の生活を結び付けやすいことが大切。写真やイラストが充実していることが、児童への学習の導入で非常に大きな役割を果たしている。東京書籍、教育出版、啓林館の写真やイラストが工夫されていたと感じた。しかし、他社についても非常に工夫が見られた。

(議長) 他の質問はないか。  
質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 E) 第1案は東京書籍である。学習活動が子供の写真やイラストにおいて、生き生きとしている。見開きの大きな写真が使われていてよい。巻末の活動便利帳は、学習の流れがつかみやすい。全体的に子供が生き生きと楽しく学習できる教科書である。第2案は教育出版である。メリットの多くは第1案の東京書籍と共通している。しかし、引っかけたことは、単元の構成である。わくわくスイッチは児童の思いが「はい」か「いいえ」で限定されてしまう。学習が広がる

ことに制限がかかってしまうのではないか。第3案は啓林館である。大きさがやや小さい判である。学習のつながり、問いの連続性があるのがよい。

(委員 A) 第1案は教育出版である。わくわくスイッチがよいと感じた。児童から出る言葉を大切にしている。第2案は東京書籍である。協働的な学びを大切にしている。第3案は光村図書である。親しみやすいキャラクターで児童の興味関心を引く内容である。

(委員 C) 第1案は教育出版である。観察などの単元において詳しく書かれている。写真やイラストのバランスがよい。学習の流れ明確であり、教職員が指導しやすい内容である。第2案は学校図書である。イラスト・写真大きく、説明が丁寧に書かれている。図鑑などが多く児童の知識が広がる工夫がある。第3案は光村図書である。キャラクターがあえて失敗している様子が描かれ、そこから手立てが示されており、児童の安心感が得られる内容となっている。

(委員 H) 第1案は教育出版である。イラストや写真が大きく鮮やかで、学習のながれが分かりやすい。グローバルな社会を見通した表現になっている。触る、比べる、数える等のヒントがあり、子供たちの思考の手立てが載っている。子供が活動する写真があり、どんな活動をするのか分かりやすい。巻末の学びのポケットでは、この学習の他教科とのつながりが明確になっている。第2案は東京書籍である。活動便利帳では、学びに向かう流れが児童だけでなく、指導者側もわかりやすい。第3案は大日本図書である。直接書き込むことができる点が便利である。実物大の写真があり、児童を引き込ませる工夫がある。

(議長) 他の意見はないか。

(委員 E) 教育出版のわくわくスイッチについて。生活科の教科は、活動をしながら失敗し、そこからまた課題を見つけ、とつながっていく教科である。導入の考え方はどうなのか。どのような話題になったか。

(委員 G) 特になかった。一つのひな形になるのではないか。

(議長) 他市町ではどうか。特にないようなので協議については終わりにする。

## ⑧家庭

(議長) 家庭科の調査員代表よろしく願います。

(調査員代表) 報告書に基づいて、家庭科 2 発行者について報告する。

(議長) 質問はあるか。

(委員 D) 家庭科の教科書の内容を見て、日常の中でのご飯の炊き方やお茶の入れ方など様々な内容を網羅していると感じた。児童が世の中に出て役に立つと感じた出版会社はあったか。

(調査員代表) どちらも特徴があり、2社ともよい。どちらがいいということはない。

(委員 E) 単元の問いが「~をしよう」という会社と、「なぜ~なのだろうか」という問いがあった。学校現場としては、どちらが主体的な学びとなるか。

(調査員代表) 学校現場としては「しよう。」よりも「だろうか。」の方が主体的について追究できる。

(議長) 他の質問はないか。

質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 H) 第1案は開隆堂である。子供が関心をもちそうな資料が豊富である。見本が充実していて、自分で見て学ぶことができる。実習ページの見開きがよい。伝統文化、他国の文化、また、表紙もよい。第2案は東京書籍である。成長の記録がよい。学校で学んだことを自宅で生かすコーナーもよい。お茶は急須で入れるということを知らない児童に対して、お茶の種類を取り上げたページがあっ

てよかった。

(委員 D) 第1案は開隆堂である。2年間で身につけさせていきたい内容がまとまっている。SDGsを身近に感じることができる工夫がある。児童が見通しをもって学習できる工夫がある。第2案は東京書籍である。巻頭に基本的なコンセプトが明確に書かれている。学習の内容が3ステップで書かれており、学び方が明確になる。基礎の技能についてくり返し記載されており、児童が活用しやすい工夫がある。

(委員 A) 第1案は開隆堂である。6年生では、5年からの積み重ねが活かされている。学習のめあてが段階ごとに示されておりよかった。第2案は東京書籍である。内容が4つの視点で整理されていて、内容に偏りが無い。

(委員 F) 第1案は開隆堂である。まず、「なぜだろうか。」という発問で問題意識を投げかけから始まっており、よい。作業工程の流れが横長で目で追えるようになっていてよい。インデックスが付いていて、今何について学習しているが明確である。また、めあてが一貫している。第2案は東京書籍である。イラスト、絵については明るく落ち着いていて見やすい。単元のはじめ、「～しよう。」という投げかけが多く、学習問題を意識するという点が弱いと感じた。

(議長) 2年間の内容を1冊は重たい。何とか軽くしてほしい。

(議長) 特にないようなので協議については終わりにする。

## ⑨保健

(議長) 保健の調査員代表よろしくをお願いします。

(調査員代表) 報告書に基づいて、保健6発行者について報告する。

(議長) 質問はないか。

(委員 D) 分かりやすさという観点ではどこの会社が優れているか。

(調査員代表) 見やすさと扱いやすさという観点がある。同じ構成で単元が進められている教科書はわかりやすいと感じた。

(議長) 他の質問はないか。

質問がないので、報告については終わりにする。

(議長) 協議に移る。それぞれ意見願う。

(委員 D) 第1案はGakkenである。学習の流れが明確である。導入で自分自身の振り返りから入り、学びを深めることができる。AEDの使用方法や薬物の影響、性についての扱いが児童に分かりやすく丁寧にまとめられている。第2案は光文書院である。学習の流れが明確である。児童も授業の内容がわかりやすい。豆知識などのコラムが充実しており、児童が興味をもって授業に臨める。第3案は東京書籍である。導入にて「夢を実現させるために」という内容の巻頭がとてもよい。グラフや資料が分かりやすい。

(委員 H) 第1案はGakkenである。身に付けた知識をもとに思考力・判断力・表現力を高めることができる。話し合った結果を書き込みでき、対話的な学びを実現することができる実践的な学習になっている。運動領域との連携もあり、よい。第2案は東京書籍である。定着させるための問題と学習した内容をまとめる欄がある。また、自分で調べた内容や友達の考えを書く欄があり、よい。思春期の変化、心の成長、生活習慣病なども充実している。第3案は光文書院である。毎時間、導入に工夫があり、自分のこととして考えている工夫がなされている。自分の生活を振り返る工夫もある。一単位時間の見通しがもちやすい。

(委員 E) 第1案は東京書籍である。問題解決的、主体的な構成となっている。時間数が少ないので効率的に書き込みができることをプラスにとらえた。カラーが美し

い。また、目次も工夫されている。情報の内容が多いので、時間数のわりに負担があるのではないかと感じた。AED等については、使用した当事者のインタビューが載っていることがよいと感じた。第2案はGakkenである。問題解決的な内容でよい。書き込み欄が多い。東京書籍と学研を比較したところ、大単元の導入が東書よりわずかに魅力が足りないと感じた。AEDのページが2ページあり、よかった。第3案は大修館である。問題解決的な学習の流れが明確である。著名な方のインタビューがあり、魅力的である。AEDのページが1ページ半あり、よい。

(委員 B) 第1案はGakkenである。4ページ1サイクルの書面構成が分かりやすい。運動領域との連携があつてよい。第2案は東京書籍である。仲間と話し合いながら課題解決できる工夫があり、よかった。第3案は光文書院である。学習の補足となるQRコードからアクセスできる点がよい。

(議長) 各市からご意見をいただいた。協議については終わりにする。

(議長) ここで公開についても終了とさせていただきます。

傍聴人の皆様には、ご退席をお願いします。選定後、再度入室をお願いします。

(3) 選定

(議長) それでは、選定を行う。事務局より説明をお願いします。

(事務局) 規約に基づいて種目ごとの選定方法を説明。

(議長) まず理科について選定を行う。協議の際、各市町、教育出版選出の記録がある。採択案として選定させていただきます。

(委員) 異議なし。

(議長) 続いて家庭科の選定を行う。協議の際、各市町、開隆堂選出の記録がある。

採択案として選定させていただく。

(委員) 異議なし。

(議長) 続いて生活科の選定を行う。協議の際、教育出版と東京書籍が第一案となっている。協議をしたい。

(委員 E) 学校からあがってきたものは東京書籍が第1案であった。その声を大切にしたいと思いがあった。メッセージとしては、先ほど述べたように、導入にて子供の意見を大切にしたい教科書を選出したいという思いがあった。私たちとしては、どの教科書になっても、その点は大切にしていきたい。

(委員 C) 今回採択は小学校。基本的には全教科教える。専門性を持っていることは持っているが、指導にまだまだ未熟な教員もいる。一定程度教科書の示すもの、一つのパターンは示しておく必要がある。実態に応じて変化もあり。採択区として統一しなくてはならない。

(議長) 他にご意見はあるか。教育出版でよろしいか。

(委員) 異議なし。

(議長) 続いて保健の選定を行う。協議の際、Gakken と東京書籍が第一案となっている。協議をしたい。

(委員 E) わずかな差。問題解決等、似ているところが多い。大きな単元のスタートの記載の仕方は魅力的ではあるが、Gakken とすることに同意する。

(議長) Gakken でよろしいか。

(委員) 異議なし。

(議長) 以上で選定を終了する。

(議長) 傍聴人の入室をお願いします。

傍聴人再入場

(議長) それでは再開する。

採択教科用図書の採択案の確認をする。

選定の結果、第七採択地区令和6年度小学校用教科用図書、国語は光村図書としてよいか。

(委員) 異議なし。

(議長) 書写は光村図書とする。

(委員) 異議なし。

(議長) 社会は東京書籍とする。

(委員) 異議なし。

(議長) 地図は帝国書院とする。

(委員) 異議なし。

(議長) 算数は東京書籍とする。

(委員) 異議なし。

(議長) 理科は教育出版とする。

(委員) 異議なし。

(議長) 生活は教育出版とする。

(委員) 異議なし。

(議長) 家庭科は開隆堂とする。

(委員) 異議なし。

(議長) 保健はGakkenとする。

(委員) 異議なし。

(議長) 以上をもって、本日の協議を終了する。この後事務局からの連絡がある。

(事務局) 25日の日程、内容の確認。

(議長) 以上をもって本日の予定を終了する。



